

日 光 国 立 公 園
(日 光 地 域)

指 定 書
(公園区域の変更)

平成9年9月18日

環 境 庁

目 次

1	変更理由	1
2	地域の概要	1
(1)	景観の特性	1
ア	地形	1
イ	地質	1
ウ	植生	1
エ	野生動物	2
オ	自然現象	3
カ	その他	3
(2)	利用の現況	3
(3)	社会経済的背景	3
ア	土地所有別	3
イ	人口及び産業	3
ウ	権利制限関係	4
3	公園区域	8
(1)	公園区域の変更	8
(2)	変更後の公園区域	12

1 変更理由

日光国立公園は、昭和9(1934)年12月4日に阿寒、大雪山、中部山岳及び阿蘇国立公園とともに指定された。当初、指定区域は日光、尾瀬及び奥鬼怒地区であったが、昭和25(1950)年9月22日に区域が拡張され、那須、甲子、塩原、藤原、栗山及び足尾地区が加えられた。

公園が指定されてから、現在までの間に社会経済情勢は大きく変化し、本公園の公園利用等にも大きな変化をもたらしている。

本公園の日光地域の公園区域については、現在まで全般的な見直しが行われておらず、公園区域が不明確になっているなど、現実の公園管理に支障が生じている。

このような状況をふまえ、公園計画の全般的な見直しを行い、本公園の適切な保護及び利用を図るものである。

公園区域の変更に係る基本方針は、現行の公園区域において区域線の不明確な地域については公園区域の明確化を図るため、林班、河川、道路等の境界線を用いて新たな区域線を選定することとし、現行の公園区域において同一の景観区に属し、地理的に一体の地域の内、優れた自然景観を有する等保護及び適正な利用を図る必要性の高い地域については、地域区分の変更を実施する。

2 地域の概要

(1) 景観の特性

ア 地形

日光国立公園日光地域（栃木県日光市、今市市、藤原町、足尾町、栗山村及び群馬県片品村の2県2市2町2村の一部）には、多くの火山が分布し、その代表的な例として男体山なんたいさんや女峰山にょほうさん・赤薙山あかなぎさんの成層火山がある。この他にも、ドーム状の溶岩円頂丘おおまなこさんや小規模火山があり、男体山の南に丹勢山にのせさん、戦場ヶ原せんばがはらの東には大真名子山おほまなこさん、小真名子山こまなこさん、太郎山たろうさん、山王帽子山さんのおぼうし、また、北には三岳さんかく、於呂俱羅山おろぐらやま、西方から群馬県との県境地域には鬼怒沼山おにぬまさん、根名草山ねなぐささん、日光白根山ひかりしろねさん、さらに南には四郎岳しろうがき、錫ヶ岳すずが、皇海山みけさん、庚申山こうしんさん、袈裟丸山けさまるやま等が分布する。これらを日光火山群と総称している。

これら奥日光、奥鬼怒、足尾に続く 2,000m級の日光火山群に広がる高層湿原、湖沼群、瀑布等の各種の火山性地形が各地にみられ興味深い地形も数多い。

特異な自然現象としては、鬼怒川上流での噴泉塔があげられる。

イ 地質

前白根山、金精山、温泉岳等の白根火山群は黒雲母流紋岩から成り、中禅寺湖北西岸から南岸にかけては石英斑岩、火崗斑岩から成り、黒雲母流紋岩とともに奥日光地区の基礎岩類となっている。

男体山、赤薙山、三岳等の日光火山群は第4紀に活動を始め、男体山と三岳の一部は男体熔岩及び火山砕屑岩から成っている。戦場ヶ原は湿地堆積物から成り、これ以外の区域はおおよそ小真名子、大真名子熔岩及び火山砕屑岩から成っている。

ウ 植生

日光地域は、日本海型気候と太平洋型気候の境界に位置しているが、同様の境界域に位置する那須地域と比較して日本海系の植物がそれほど分布していないという特徴がある。

山麓部は、ブナ、ミズナラを主とする落葉広葉樹林帯であり、カラマツ、スギ等

の人工林が混在している。標高1,600mぐらいから上はコメツガ、シラビソ、オオシラビソの針葉樹林帯が発達しており、さらに上部はダケカンバ林、ミヤマハンノキ林が見られる。標高2,400mあたりから上は低木、草本による高山帯の植生となっているが、女峰山、温泉ヶ岳等を除くとハイマツを欠くという特徴がある。

一方、鬼怒沼や戦場ヶ原等には高層湿原等の湿原が見られ、ワタスゲ、ヒメシャクナゲ等の湿原植物は豊富に見られる。

エ 野生動物

日光国立公園日光地域は、森林、溪谷、湖沼、高原等の変化に富む地形を持つ豊かな自然に恵まれており、それぞれの自然に適応した様々な野生動物が生息している。これまでに記録されている動物相を見ると、哺乳類47種、鳥類193種、昆虫類1,601種と多数にのぼっている。

(ア) 哺乳類

ツキノワグマ、ニホンジカ、カモシカ等の大型哺乳類、キツネ、タヌキ、テン、ニホンリス、ヤマネ、イタチ、テン、ホンシュウモモンガ、トウホクノウサギ等の中小哺乳動物が多く生息している。

種類、量ともに豊富でありわが国屈指の生息地である。特にニホンジカ、ニホンザルの生息密度は高くなっている。

(イ) 鳥類

湖沼や溪谷にはセグロセキレイ、カワガラス、ヤマセミ、カワセミ、マガモ、カルガモ、オシドリ、カイツブリ等が見られる。冬期の湯の湖や中禅寺湖には、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ等の渡り鳥が見られる。

草原では、ムクドリ、ニュウナイスズメ、アオジ、ホオジロ、モズ、カッコウ、ホオアカ、ヒバリ、ノビタキ、オオジシギ、ウズラ、ヒクイナ等が見られる。

低山帯上部以下では、カケス、イカル、シジュウカラ等のカラ類、キビタキ、オオルリ、センダイムシクイ、ウグイス、コルリ、ミソサザイ、ホトトギス類、キツツキ類等約60種が見られる。

(ウ) 魚類

奥日光の湖沼に魚が住むようになったのは、明治6年に地元有志が中禅寺湖にコイ、フナ、イワナ等を放流したのがはじめだと云われている。続いて湯の湖、切込・刈込湖にコイ、フナ、マス類が放流され、現在では湯の湖、湯川、中禅寺湖は全国でも有名なマス釣場となっている。

奥日光の主な生息種としては、イワナ、ヤマメ、ヒメマス、ニジマス、カワマス、コイ、フナ、ワカサギ等である。

(エ) 昆虫類

主なチョウ類としては、オオイチモンジ、フタスジチョウ、ミヤマカラスアゲハ、スジボソヤマキチョウ、アサギマダラ、カラスシジミ、エルタテハ、クジャクチョウ等約100種、トンボ類はルリボシヤンマ、オニヤンマ、ヨツボシトンボ等約15種が確認されている。

(オ) その他

上記以外の動物として、ハコネサンショウウオ、クロサンショウウオ、モリア

オガエル等の両生類、ジムグリ、ヤマカガシ等のは虫類が生息している。

オ 自然現象

日光国立公園日光地域は、関東平野の北西部に連なる日光連山を含み、南東側に関東平野を臨む位置にある。

夏に太平洋から関東平野を北上してきた湿った南風は、男体山や女峰山等の日光連山によって、初めて上昇する機会を得て、その南麓の中宮祠や日光市街地に年間2,000から2,100mmもの多くの雨を降らせ、日光連山南東側は降雨量が比較的多い。

冬は、シベリアから日本海を越えてくる湿った北風が、上信越の日本海側山岳地や日光連山の北西側等で大量の雪を降らせ、その影響は日光白根山や温泉ヶ岳、男体山北側等の標高2,000mを越える山岳から湯元にまで及ぶ。これらの山岳地帯を境にして、奥日光の多くの地域には、比較的乾燥した冷たい北風が吹く。

このように奥日光の山岳地帯は、日本海型気候型と太平洋型気候型の接点となっている。

なお、低地は比較的穏やかで高地は厳しい気象条件となるが、中宮祠では8月の平均気温は20℃以下であり、1月の平均気温は-4.4℃である。また、11月上旬に日光白根山等で初冠雪が見られる。

カ その他

人文その他の特殊景観として、日光国立公園の入り口には東照宮、二荒山神社、輪王寺のいわゆる二社一寺がある。特に東照宮は、本殿、拝殿、陽明門を中心にして、美しい彫刻や絵画に飾られている。

(2) 利用の現況

本公園は東京圏から東北自動車道、日光宇都宮有料道路で直結され2時間程度で到達できることから、手軽に利用できる公園として年間660万人にも及ぶ利用者がある（平成7年観光統計書日光市観光商工課調べ）。夏期から秋期に利用者が集中し、特に紅葉時期は際だって多い。

なお、本公園の核心部を国道120号線が貫通しているが、冬期間は金精峠が通行止めとされるとともに冬期の利用者数は激減する。

主な利用形態は、温泉を利用した保養と、夏季は歩道を利用した散策または登山、キャンプが主体となり、冬期はクロスカントリースキー及びゲレンデスキーが奥日光の利用の主体となる。

(3) 社会経済的背景

ア 土地所有別

本公園は、国有地74,824ha（53.4%）、公有地11,347ha（8.1%）、私有地53,993ha（38.5%）であり、国有地の中でも、国有林の公園全体に占める割合は53%にのぼる。

イ 人口及び産業

本公園日光地域は、栃木県日光市・今市市・藤原町・足尾町・栗山村、群馬県片品村の2県6市町村（2市2町2村）にまたがっているが、公園内の定住人口は、公園外の市街地等を含んで102,968人（平成2年国勢調査）に達する。第3次産業従事者が多く、公園内においては観光業従事者の占める割合も高い。観光産業以外の産業は、国有林を主体とした林業が主なものである。

ウ 権利制限関係
 (ア) 保安林
 (国有林)

種 類	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
水 源 涵 養	栃木県日光市内 国有林宇都宮営林署 栃木県今市市内 国有林宇都宮営林署 栃木県塩谷郡栗山村内 国有林宇都宮営林署 栃木県塩谷郡藤原町内 国有林宇都宮営林署	2 6 , 6 4 1	明38.10.10 明38.10.20 昭33. 7. 29 昭35. 3. 5 昭36. 6. 28 昭46. 3. 25
	栃木県上都賀郡足尾町内 国有林大間々営林署	1 , 4 7 5	昭 3.11.24
	栃木県塩谷郡藤原町内 国有林矢板営林署	4 6 1	昭42.10.21
	群馬県利根郡片品村内 国有林沼田営林署	1 5 9	昭37. 5. 22
土砂流出防備	栃木県日光市内 国有林宇都宮営林署 栃木県塩谷郡栗山村内 国有林宇都宮営林署 栃木県塩谷郡藤原町内 国有林宇都宮営林署	1 1 , 3 0 6	昭36. 6. 28
	栃木県上都賀郡足尾町内 国有林大間々営林署	1 , 6 0 9	明38. 2. 28
	栃木県塩谷郡藤原町内 国有林矢板営林署	5 8	昭36. 6. 28
保 健	栃木県日光市内 国有林宇都宮営林署 栃木県今市市内 国有林宇都宮営林署 栃木県塩谷郡栗山村内 国有林宇都宮営林署 栃木県塩谷郡藤原町内 国有林宇都宮営林署	2 , 8 8 7	昭54.12.27 昭58.12.13

(県有林)

種 類	位 置	重複面積(ha)	指定年月日
水 源 涵 養	栃木県日光市内	3 2 3	昭25. 12. 19
	栃木県塩谷郡栗山村内	1, 0 7 7	昭28. 3. 6 ~ 昭59. 3. 30
	栃木県塩谷郡藤原町内	1 7 2	昭25. 12. 19
土砂流出防備	栃木県日光市内	1	昭29. 5. 13 ~ 昭51. 12. 11
	栃木県今市市内	2 0	大12. 3. 8
	栃木県塩谷郡藤原町内	6 2	大 5. 4. 11
保 健	栃木県塩谷郡栗山村内	5 6 6	昭59. 3. 30

(民有林)

種 類	位 置	重複面積(ha)	指定年月日
水 源 涵 養	栃木県日光市内	1, 1 3 3	昭25. 12. 19 ~ 昭44. 7. 7
	栃木県今市市内	4 2	昭29. 5. 13 ~ 昭44. 7. 7
	栃木県塩谷郡栗山村内	6, 9 4 1	昭25. 12. 19 ~ 昭60. 2. 25
	栃木県塩谷郡藤原町内	8 1	昭25. 12. 19
	群馬県利根郡片品村内	3, 3 6 7	昭27. 4. 1 ~ 昭32. 9. 7

種 類	位 置	重複面積(ha)	指定年月日
土砂流出防備	栃木県日光市内	4, 3 3 4	昭38.10.21 ～ 昭51. 4. 9
	栃木県今市市内	4 6 8	大12. 3. 8
	栃木県上都賀郡足尾町内	1 1	明32. 8.15
	栃木県塩谷郡栗山村内	1 8	昭40.10.18 ～ 昭28. 3.24
	栃木県塩谷郡藤原町内	8 1 3	明35. 9.12 ～ 昭44. 7. 7
	群馬県利根郡片品村内	1 9 1	明39. 7.25 ～ 昭32. 9. 7
保 健	栃木県日光市内	3, 3 3 1	昭51. 4. 9
	栃木県塩谷郡栗山村内	2, 2 5 6	昭57.10.29
	栃木県塩谷郡藤原町内	1 6	平 2. 6.22
土砂崩壊防備	栃木県今市市内	1 5	明43. 6.22
	栃木県塩谷郡栗山村内	1 1	昭58. 9.28
干 害 防 備	栃木県塩谷郡藤原町内	1 6	平 2. 6.22

※ 面積は、図面上の計測による概算である。

※ 指定年月日で件数が多い場合は、当初と直近の指定年月日のみを記載している。

(イ) 鳥獣保護区（県設）

名 称	位 置	重複面積(ha)	指定年月日
日 光	栃木県日光市地内 栃木県今市市地内 栃木県上都賀郡足尾町地内	2 6, 8 6 6 (内特保3, 447)	平 5.11. 1
五 十 里	栃木県塩谷郡栗山村地内 栃木県塩谷郡藤原町地内	9 4 6	平 4.11. 1
栗山小中学校	栃木県塩谷郡栗山村地内	1 2	平 2.11. 1
丸 沼 菅 沼	群馬県利根郡片品村地内	3, 5 7 0	昭63.11. 1

(ウ) 史跡名勝天然記念物等

区 分	名 称	位 置	指定年月日
国 指 定 名 勝	華厳瀑及び中宮祠湖（中 禅寺湖）湖畔	栃木県日光市中宮祠地内	昭 6. 3. 30
国指定特別天然記 念物	コウシンソウ自生地	栃木県上都賀郡足尾町地内	昭27. 3. 19
	カモシカ	栃木県内一円	昭30. 2. 15
国指定天然記念物	金剛ザクラ	栃木県日光市山内地内	昭11. 12. 16
	湯沢噴泉塔	栃木県塩谷郡栗山村地内	大11. 3. 8
	ミヤコタナゴ	栃木県内一円	昭49. 6. 25
栃木県指定史跡	釈迦堂殉死の墓及び譜代 家臣の墓	栃木県日光市本町地内	昭56. 10. 27
県指定天然記念物	中宮祠のイチイ	栃木県日光市中宮祠地内	昭44. 10. 11

(エ) 農業振興地域等

種 類	位 置	重複面積(ha)	指定年月日
農業振興地域	栃木県日光市内	7 5	昭47. 11. 10
	栃木県今市市内	3 2 9	昭46. 11. 5
	栃木県塩谷郡栗山村内	1, 1 5 4	昭48. 9. 7
	栃木県塩谷郡藤原町内	3 6 5	昭47. 11. 10
農用地区域	栃木県日光市内	7 5	昭49. 3. 29
	栃木県今市市内	3 2 2	昭47. 3. 31
	栃木県塩谷郡栗山村内	6 2 0	昭49. 3. 29
	栃木県塩谷郡藤原町内	2 0 2	昭48. 3. 31

(オ) 都市計画区域等

種 類	位 置	重複面積(ha)	指定年月日
用 途 地 域	栃木県日光市内	4 2 5	昭49. 8. 1
	栃木県塩谷郡藤原町内	2 2 8	昭48. 12. 10

3 公園区域

日光国立公園（日光地域）の区域の一部を、次のとおり変更する。

(表1：公園区域変更表)

番号	区分	変 更 部 分 の 区 域
1	拡 張	栃木県日光市 所野の一部
2	拡 張	栃木県日光市 所野, 稲荷町, 上鉢石町, 下鉢石町及び中鉢石町の各一部
3	拡 張	栃木県今市市 瀬尾の一部
4	拡 張	栃木県今市市 瀬尾の一部
5	拡 張	栃木県塩谷郡藤原町 大字藤原の一部
6	削 除	栃木県日光市 上鉢石町の一部
7	削 除	栃木県塩谷郡栗山村 大字湯西川の一部
8	削 除	栃木県塩谷郡藤原町 大字高德の一部
9	削 除	栃木県日光市 所野の一部
10	削 除	栃木県今市市 瀬尾の一部
11	削 除	栃木県今市市 瀬尾の一部
12	削 除	栃木県塩谷郡栗山村 大字湯西川の一部

変 更 理 由	面 積 (ha)
良好な植生等がみられる霧降滝周辺の風致の維持を図るため、公園区域の明確化に伴い、区域を拡張し、特別地域とする。	1 (私 1)
本公園の導入部にあたる大谷川一帯の風景の維持を図るため、公園区域の明確化に伴い、区域を拡張する。	1 1 (国 9) (私 2)
大笹山周辺の風景の維持を図るため、公園区域の明確化に伴い、区域を拡張する。	3 (私 3)
六方沢一帯の風景の維持を図るため、公園区域の明確化に伴い、区域を拡張する。	3 9 (私 39)
鈴倉川周辺の風景の維持を図るため、公園区域の明確化に伴い、区域を拡張する。	8 (私 8)
上鉢石町周辺の公園区域の明確化に伴い、区域から削除する。	△ 1 (私 1)
湯西川上流部の公園区域の明確化に伴い、区域から削除する。	△ 2 (私 2)
高德周辺の公園区域の明確化に伴い、区域から削除する。	△ 6 (私 6)
所野周辺の公園区域の明確化に伴い、区域から削除する。	△ 2 (国 1) (私 1)
大笹山周辺の公園区域の明確化に伴い、区域から削除する。	△ 5 (私 5)
大笹山周辺の公園区域の明確化に伴い、区域から削除する。	△ 2 7 (私 27)
湯西川左岸の公園区域の明確化に伴い、区域から削除する。	△ 2 1 (私 21)

(表 1 : 公園区域変更表)

番号	区分	変 更 部 分 の 区 域
1 3	削 除	栃木県塩谷郡藤原町 大字高德の一部

変 更 理 由	面 積 (ha)
高德周辺の公園区域の明確化に伴い、区域から削除する。	△ 8 (私 8)
変 更 部 分 面 積 計	△ 1 0 } 国 8 私 △18
変 更 前 公 園 面 積	7 5, 7 1 6 } 国50,481 公 1,754 私23,481
変 更 後 公 園 面 積	7 5, 7 0 6 } 国50,489 公 1,754 私23,463

(2) 変更後の公園区域

変更後の公園区域は次のとおりである。

(表2：公園区域表)

都道府県名	区 域	面 積 (ha)	
栃 木 県	日光市内 国有林宇都宮営林署 614林班から618林班まで, 1001林班から1003林班まで, 1009林班, 1012林班から1015林班まで, 1017林班から1038林班まで, 1040林班から1043林班まで, 1045林班, 1046林班, 1048林班, 1052林班, 1054林班から1056林班まで, 1061林班から1063林班まで, 1065林班から1068林班まで, 1072林班から1100林班まで, 1102林班から1128林班まで及び1130林班から1140林班までの全部 (国13, 872)	23, 309	
	日光市 清滝, 清滝安良沢町, 清滝桜ヶ丘町, 清滝新細尾町, 清滝丹勢町, 清滝町, 清滝中安戸町, 清滝和の代町, 久次良町, 山内, 匠町, 丹勢, 花石町, 本町及び安川町の全部並びに稲荷町, 上鉢石町, 下鉢石町, 中宮祠, 所野, 中鉢石町, 日光, 萩垣面, 細尾町及び湯元の各一部 (国 311) (公 225) (私 7, 725)		
	日光市 湯ノ湖及び中禅寺湖の全部 (国 1, 176)		
	今市市内 国有林宇都宮営林署 72林班の全部 (国 439)	1, 312	
今市市 栗原及び瀬尾の各一部 (私 873)			
	上都賀郡足尾町内 国有林大間々営林署 252林班から258林班までの全部並びに251林班及び263林班の各一部 (国 3, 086)	3, 154	
上都賀郡足尾町 字木ノ面の一部 (私 68)			
	塩谷郡栗山村内 国有林宇都宮営林署 15林班から29林班まで, 38林班から61林班まで及び136林班から138林班までの全部並びに70-1林班及び500林班の各一部 (国22, 060)	32, 295	
塩谷郡栗山村 大字上栗山, 大字川俣, 大字黒部, 大字土呂部, 大字西川, 大字野門, 大字日蔭, 大字日向及び大字湯西川の各一部 (国 300) (公 1, 090) (私 8, 845)			

(表2：公園区域表)

都道府県名	区 域	面 積 (ha)	
	塩谷郡藤原町内 国有林宇都宮営林署 1林班, 4林班から14林班まで, 62林班から67林班ま で, 101林班から103林班まで及び135林班の全部 並びに2林班, 3林班及び500林班の各一部 (国 8,041) 国有林矢板営林署 41林班及び116林班から119林班までの全部 (国 657) 塩谷郡藤原町 大字五十里, 大字大原, 大字柄倉, 大字川治, 大字小佐越, 大字高德, 大字高原, 大字滝及び 大字藤原の各一部 (国 240 公 439 私 2,314)	11,691	
		小 計	71,761
群 馬 県	利根郡片品村 国有林沼田営林署 77林班の一部 (国 159) 利根郡片品村 大字東小川の一部 (国 148 私 3,638)	3,945	
		小 計	3,945
合	計	75,706	